

きたがたちょう
 49 北方町新庁舎建設工事

受賞機関 岐阜県 北方町

全建賞審査委員会の評価ポイント

防災性能や利便性などに欠けていた行政庁舎を、住民との協働で新庁舎に整備した事業。計画、設計段階での住民参加により、機能的で利便性が高く、環境にも優しい施設となっているほか、災害発生時の機能についてもよく配慮された施設となっていることを評価。

1. はじめに

防災面や利便性及びプライバシーの保護に欠けていた行政拠点の課題を解決するため、機能的かつ利便性に優れたわかりやすい施設にするとともに環境にも優しく町のシンボルとなる新庁舎を住民との協働で実現する事業としたものである。

2. 事業の概要

- 規模構造：鉄骨造、告示免震、地上3階建て
- 建築面積：2,690㎡
- 延べ床面積：5,221㎡

新庁舎の建設にあたっては、「北方町新庁舎建築設計プロポーザル第三次審査」を公開型で開催した。この審査を公開型にすることにより、設計者の考える新庁舎建設について住民へのプレゼンテーションとなり、スムーズに基本設計へと進めることができた。また、基本設計段階においては新庁舎に求める意見をパブリックコメントとして募集し、多数の意見を設計へ反映させたとともに、毎年、住民を対象に開催している「わかりやすい予算説明会」において、寄せられた意見を如何にして設計に取り入れたかを説明し、住民協働による新庁舎建設に努めた。



第3次審査の状況（公開プレゼン）

3. 事業の成果

景観面として、周囲環境に対して垂直な壁面がそそり立つのではなく、斜めにセットバックしていく大屋根により圧迫感を軽減しているとともに、国の重要文化財となっている円鏡寺楼門の大屋根を彷彿させ、住民に馴染み深い景観を創り出し、町が掲げる「人間都市」「公園都市」のシンボルとなる庁舎を創出している。

環境面としては、灯具のLED機器の採用や再生可能エネルギーの活用は当然のことながら、低層部の南北面や大屋根の所々に設けた屋上テラス近傍の吹き抜けに面した開口部から自然光を取り込める構造とした。また、南面屋根はダブルルーフ構造とし、四季を通じて負荷の低減に努めるとともに太陽光や蓄電池の活用により、自然エネルギーを最大限に有効活用できるものとした。

防災面としては、免震構造により高い安全性を確保していることに加え、災害発生時には支援活動等の拠点として、機能を十分に発揮できる施設とした。

さらに利用面としては、北側スペースに小さなお子様連れの方でも気軽に利用していただくため、岐阜県産材のベンチ等を用いたキッズスペースや木育ひろばを配置したことで親子同士の交流ができる環境、空間を創出している。



新庁舎正面の状況

4. おわりに

新庁舎は設計段階から住民協働として、意見を反映しながら、様々な点に配慮しており、誰もが気軽に足を運び、身近で親しみを持てる施設として、いつまでも愛される町のシンボルとなることを期待している。